

令和7年度第1回 川西町介護保険運営協議会・
川西町地域包括支援センター運営協議会 会議録

期日：令和7年11月19日（水）

時間：午後3時00分～午後3時55分

場所：川西町役場中会議室

出席委員 加藤健吉会長、青木順子副会長、村上英樹委員、米野邦宏委員、
片山彰浩委員、金子正美委員、安部眞委員、菅野明日香委員、
樋口悦子委員、伊藤博委員、福島誠委員、佐藤けい子委員

欠席委員 高橋栄一委員、山田昌弘委員、菅井昌子委員

事務局 梶山福祉介護課長、嵐福祉介護課長補佐（介護担当）、一條介護係長、推名包
括支援係長、大友福祉介護課長補佐、梅津税務会計課長補佐、緒形健康子育
て課長補佐、岡崎健康子育て課長補佐（健康担当）、濱田主事

《 次 第 》

進行役：嵐福祉介護課長補佐（介護担当）（以下、嵐課長補佐）

1. 開会 嵐課長補佐
2. 会長挨拶 加藤会長
3. 会議録署名委員の氏名
会長より、伊藤博委員を指名
4. 報 告・協 議 議長：加藤会長
 - （1）令和6年度川西町介護保険事業の実績について 嵐課長補佐
 - （2）川西町介護保険事業計画（第9期）の進捗状況について（令和7年9月末現在）
嵐課長補佐

【質疑及び意見等】

（委員）かわにしまちの介護保険について、P1「3. 費用額等の状況」とP5「13. 令和6年度給付実績」について、数値はどのような関係性か。

（回答：一條係長）費用額は、所得に応じて定められた自己負担額と介護給付費の合計である。そのため費用額と給付実績の数値は異なる。

- （3）令和6年度川西町地域包括支援センター事業実績及び令和7年度事業計画につ
いて 推名包括支援係長

【質疑及び意見等】

（委員）認知症予防研修会の講師について、こういった方に依頼を行ったのか。

（回答：推名包括支援係長）山形県言語聴覚士会の会長であり、長井市の介護施設で勤

務されている方。発声、飲み込み、聞こえにかかる専門的な訓練、脳梗塞後遺症による失語症の訓練、失語症カフェの開催等行っている方である。現在難聴対策が全国的に注目を集めていることから、言語聴覚士も注目されている。受診につながる方を見つけ、専門的受診から詳細な検査を行い、補聴器が本当に必要かどうかの判断へつなぐ役割となる。

（委員）生活支援コーディネーターについて、令和6年度川西町地域包括支援センター体制の部分で2名と記載があるが、生活支援体制整備事業の部分では第1層1名の記載となっている。この違いは何か。

（回答：推名包括支援係長）令和6年度川西町地域包括支援センター体制について、年度途中の交代があり引継ぎを兼ねて2名の記載としている。

（委員）R7新規事業「チームオレンジ」の窓口はどこか。また、どのような体制をとっているか。

（回答：推名包括支援係長）委託も検討したが、最初は町直営から始めることとし、窓口は包括支援センターとしている。現在町内において認知症サポーターは延べ3,000人程となっており、その中でさらに認知症サポーターとして活躍したい気持ちがある方にステップアップ講座を受講していただき、その中からチーム員を担っていただいている。そのため、生活支援コーディネーターや町民なども含まれている。

（4）地域密着型事業所の指定更新等について
質疑及び意見等なし

一條介護係長

5. その他

（1）「第11次川西町高齢者保健福祉計画・第10期川西町介護保険事業計画」【令和9年度（2027年度）～令和11年度（2029年度）】策定に向けたアンケート調査の実施について
株式会社ぎょうせい 布谷氏

【質問及び意見等】

（委員）計画策定にあたり、本庁は豪雪地帯、農村地帯である。アプローチの仕方は他自治体と異なると思われるが、どのように進めていく予定か。

（回答：（株）ぎょうせい）地域分析を行い、町の状況に沿って事務局と相談しながら進めてまいりたい。

（委員）高齢者のためのサービスガイドについて、全世帯に配布は行っているか。

（回答：推名包括支援係長）全世帯への配布は行っていない。役場窓口での相談の際の配布、町ホームページへの掲載を行っている。

（委員）各地区交流センターにて100歳体操を行っており、高齢者が集まる場のため交流センターへサービスガイドの設置をお願いしたい。

(回答：推名包括支援係長) 来年度に向けて検討したい。また、昨年度の会議においてご意見を頂戴した町ホームページの介護保険の分野について、会議終了後改善を行った。

以上、委員会の次第及び協議の内容については、事務局において記載したものであるが、その内容は正確であることを証する。

令和7年12月18日

議 長 加藤 健吉

議事録署名委員 伊藤 博

(原本には署名をいただいております)